

# 田辺で体験教室

## 体操に親しんで

### 県子どもの体力向上へ

田辺市あけぼのの田辺工業高校体育館で10日、県体操協会普及部による体験教室があり、小学生約60人が鉄棒やつり輪などを使って体操に触れた。すべてのスポーツの基礎になるという体操に親しんでもらうことで、地域の子どもの体力向上につなげたいという。

同協会普及部長で、田辺工業高校体操顧問の柴田達也教諭(52)が司会を務めた。同校体操部員や田辺ジュニア体操クラブの選手、社会人のOB、田辺体操教室(田辺市中芳養)の指導者らが協力。田辺・西牟婁の5高校の養護教諭も見学した。

明洋中学校体操部は今年の全国大会で団体9位、昨年は2位だった。田辺工業高校体操部は19年連続でインターハイに出場している。模範演技では、全国大会や団体に出場

した中高生がゆか、跳馬、鉄棒などで日頃鍛えた技を披露し、参加者を驚かせた。

児童たちは準備体操で体幹を鍛える動きを学んだ後、開脚前転や側転、Y字バランスなど12項目の運動を体験するスタンプリーを楽しんだ。「低いつり輪で支持10秒」「跳馬に飛び乗ってジャンプ着地」など、器具を使った運動もあった。中高生が補助して安全に取り組み、各種目を

クリアしたら合格印を押しもらった。最後は全員に菓子が贈られた。

田辺市新庄小学校1年の蝉百華さん(6)は「全部できたよ。ロープにぶら下がるのが楽しかったと笑顔で話した。柴田教諭は「スマホやゲームの影響で背骨が曲がり、筋力がない子どもが増えている。体操が体幹、筋力、骨格の発達につながり、どんなスポーツにも役に立つことを周

知し、地域の子どもたちの体力向上につなげたい」と話している。

田辺工業高校体操部は30日午後4時～5時、同校体育館で「新技発表会」を開く。同校体操部員ら地域で体操をしている小中高生、田辺工業高OBの大学生が日頃の練習の成果を披露する。一般の観覧を歓迎する。



体操競技を体験する児童(10日、田辺市あけぼのの田辺工業高校で)

### 30日に新技発表会